

リーディングDXスクール事業【実践事例】

北九州市立高等学校（福岡県）【指定校】

＜教育利用＞ ⑥ 英文の問題作成をする

- ・教科・科目等: 英語コミュニケーションⅡ
 - ・学級: 2年1・2組
 - ・単元: 関係詞・仮定法
 - ・生成AIを利用することで期待されること
- 生成AIを使用し、作成された問題を解く活動を通して長文読解の復習を個別最適な学習で行うことが期待できる

・活用場面: 個人の英語レベルに合った問題の作成や作成された問題を解く場面。

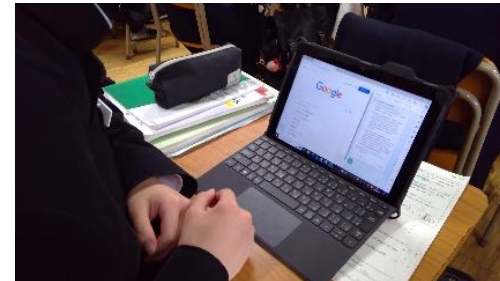
・活用方法・ポイント: レベルは「CEFR」や「英検の級」を入力させる。長文はデータからコピーし、貼り付けて問題を作成させる。「選択式」か「記述式」の問題形式を入力させ、個人に合う問題を作成させる。

・期待される生徒の姿: 生徒一人ひとりが自分に合うレベル別に問題を解くことで、段階的に学習できる。復習で活用することにより、新しい問題で解くと読解力の向上につながる

活動の様子・プロンプト等

メリット: ヒントや解説をその場で教えてもらいながら解くことができる。

デメリット: 求めている問題の作成や回答を得ることが難しい。



【プロンプト】

In 1971, a new product was on sale. The product was noodles in a cup. It was very quick and easy to cook and, most importantly, very delicious. How was it born?

.....

上の英文について、問題を英語で1問、選択式で作成して下さい。

英検準2級（CEFR A2）レベルで作成してください。答えはまだ見せないでください。